科目名	医療概論 Outline of Medicine	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	鍼灸科						

【授業の学習内容】

日本の医療システムや医療を求める人々の心を知り、「病」とは「医学」とは「医療」とは何かの原点より、医学・医療の歴史を学び、現代の医療制度を理解し、医療行為としての鍼灸をいかに社会に役立てていくかについて学習する。
医療従事者として鍼灸施術を行うために社会保障制度や職業倫理についても学習し、鍼灸施術が社会的資源として活用できるよう知識を養う。

【到達目標】

① 医学と医療の歴史について理解する。
② 日本の医学と医療の歴史について理解する。
③ 現代の医療制度を理解する。
④ 健康の概念、医の倫理について説明できる。
⑤ 医療の質と安全性、医療事故と責任について理解する。
⑥ QOLとヘルスプロモーションについて理解する。
上記を踏まえ、医療の現状と問題点などについて論ずることができる。

授業計画・内容	
1回目	病とは、医療とは、医学とは何か、日本の多元的医療システムについて説明できる。
2回目	古代・中世西洋における医学・医療の変遷、歴史が説明できる。
3回目	インド、中国、アジアの医学・医療の歴史が説明できる。
4回目	日本における医学・医療の変遷、歴史が説明できる。
5回目	近代西洋医学における変遷が説明できる。
6回目	近代西洋医学における課題、先端医療について説明できる。
7回目	東洋医学と西洋医学の違い、東洋医学の課題について説明できる。
8回目	医療従事者、そこで働く医療施設について説明できる。
9回目	国民医療費含まれるものと、含まれないものについて説明できる。
10回目	国民医療費の変遷および内訳と、増大する国民医療費の諸問題が説明できる。
11回目	医療保険制度、後期高齢者医療保険制度について説明ができる。
12回目	公的医療負担、介護保険制度について説明できる。
13回目	医療者、医療者と患者における倫理、インフォームド・コンセントについて説明できる。
14回目	医学と社会、生命倫理においての意志決定に関する倫理について説明できる。
15回目	施術者としての倫理を理解し、実際に行動できるよう説明できる。

準備学習 時間外学習	事前準備　授業開始前に教科書該当する項目を熟読すること 時間外学習　授業での内容を毎回、まとめておくこと
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 　『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書・教材・参考書】 教科書　医療概論　中川米造監修　医歯薬出版株式会社ISBN 978-4-263-24100-4
参考書　医療原論　渡邉勝之編著　医歯薬出版株式会社ISBN978-4-263-24269-8